

外部 SQL Server 用に Windows 認証を使用するように TMS を設定する

目次

[概要](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[TMSNG \(および TMSPE \) データベースへの TMS 接続の Windows 認証の構成設定](#)

概要

Telepresence Management Suite (TMS) が外部の Structured Query Language (SQL) サーバに Windows 認証を使用するように設定するには、IIS アプリケーション ユーザ ID をネットワーク サービス アカウントに変更する必要があります。このドキュメントでは、外部 SQL サーバに Windows 認証を使用するように TMS を設定する方法について説明します。

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Active Directory を実行する Windows Server 2003 および Windows Server 2008 R2
- SQL Server 2005 以降を実行する Windows Server
- TMS ソフトウェアを実行する Windows Server 2003 (IIS 6) または Windows Server 2008 R2 (IIS 7) 。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

TMSNG (および TMSPE) データベースへの TMS 接続のための Windows 認証の構成

顧客が TMSNG データベースおよび TMS Provisioning Extension (TMSPE) データベースへの

TMS 接続に Windows 認証を使用する場合は、SQL でログインを作成するため、IIS アプリケーション ユーザ ID をネットワーク サービス アカウントに変更する必要があります。

設定

1. 新しい Active Directory (AD) サービス アカウント (たとえば tms-databaseservice) を作成します。AD に Windows 2008 以降を使用する場合は、特別な権限は必要ありません。Windows 2003 を使用する場合は、ユーザがサービスとしてログオンできる必要があります。

TMS DatabaseService Properties

Published Certificates | Member Of | Password Replication | Dial-in | Object
Security | Environment | Sessions
Remote control | Remote Desktop Services Profile
Personal Virtual Desktop | COM+ | Attribute Editor
General | Address | Account | Profile | Telephones | Organization

User logon name:
TMS-DatabaseService @: ...

User logon name (pre-Windows 2000):
TMS-DatabaseService

Logon Hours... Log On To...

Unlock account

Account options:

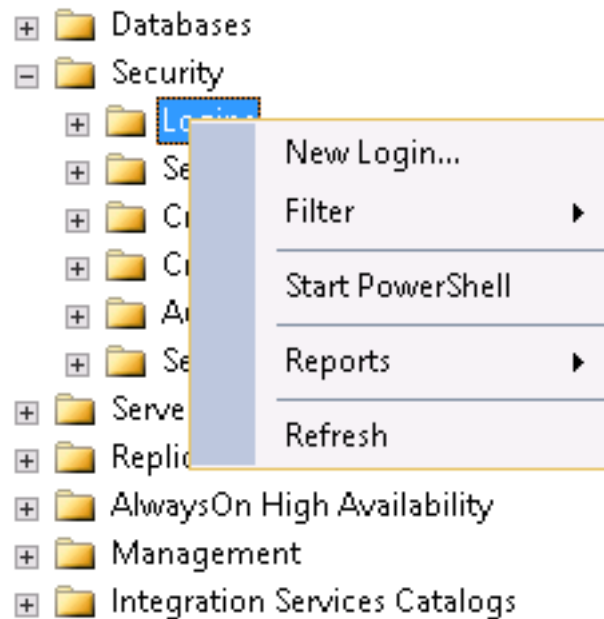
- User must change password at next logon
- User cannot change password
- Password never expires
- Store password using reversible encryption

Account expires:

- Never
- End of: Saturday, June 14, 2014

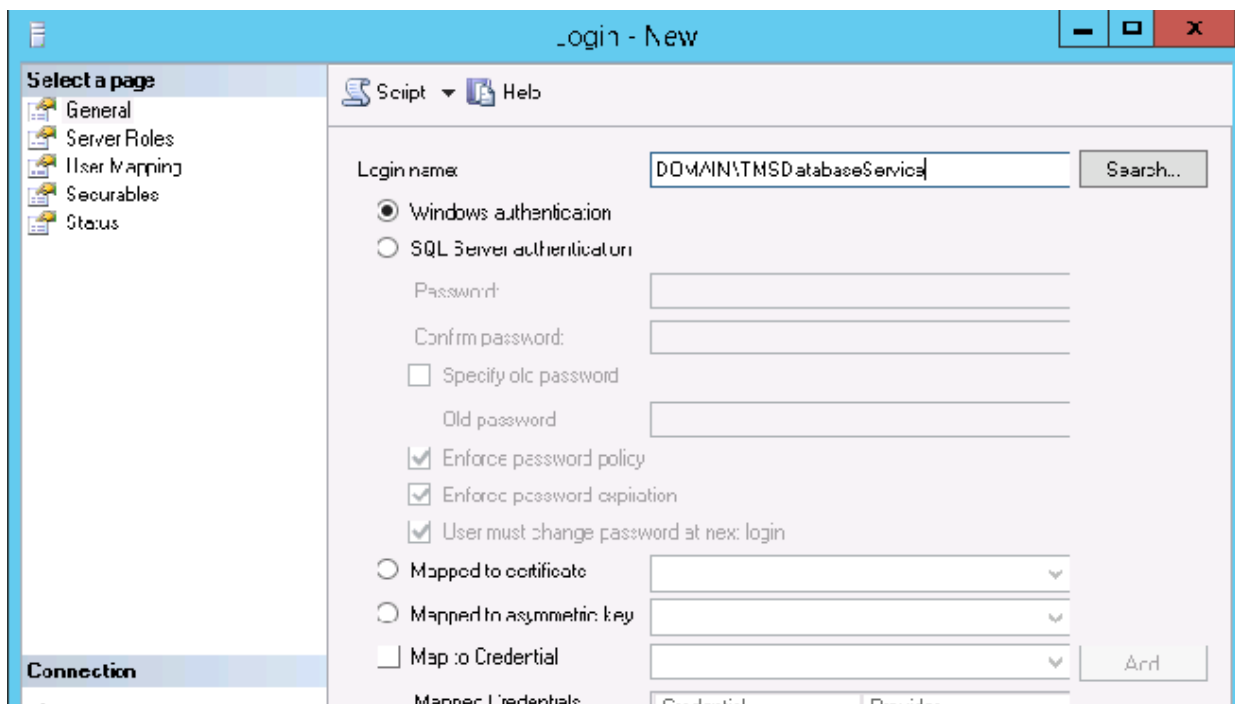
OK Cancel Apply Help

2. SQL Server で新しいログインを作成します。例： tms-databaseservice、SQL Management Studio を使用。 - [Security] を展開し、[Logins] を右クリックします。 [New

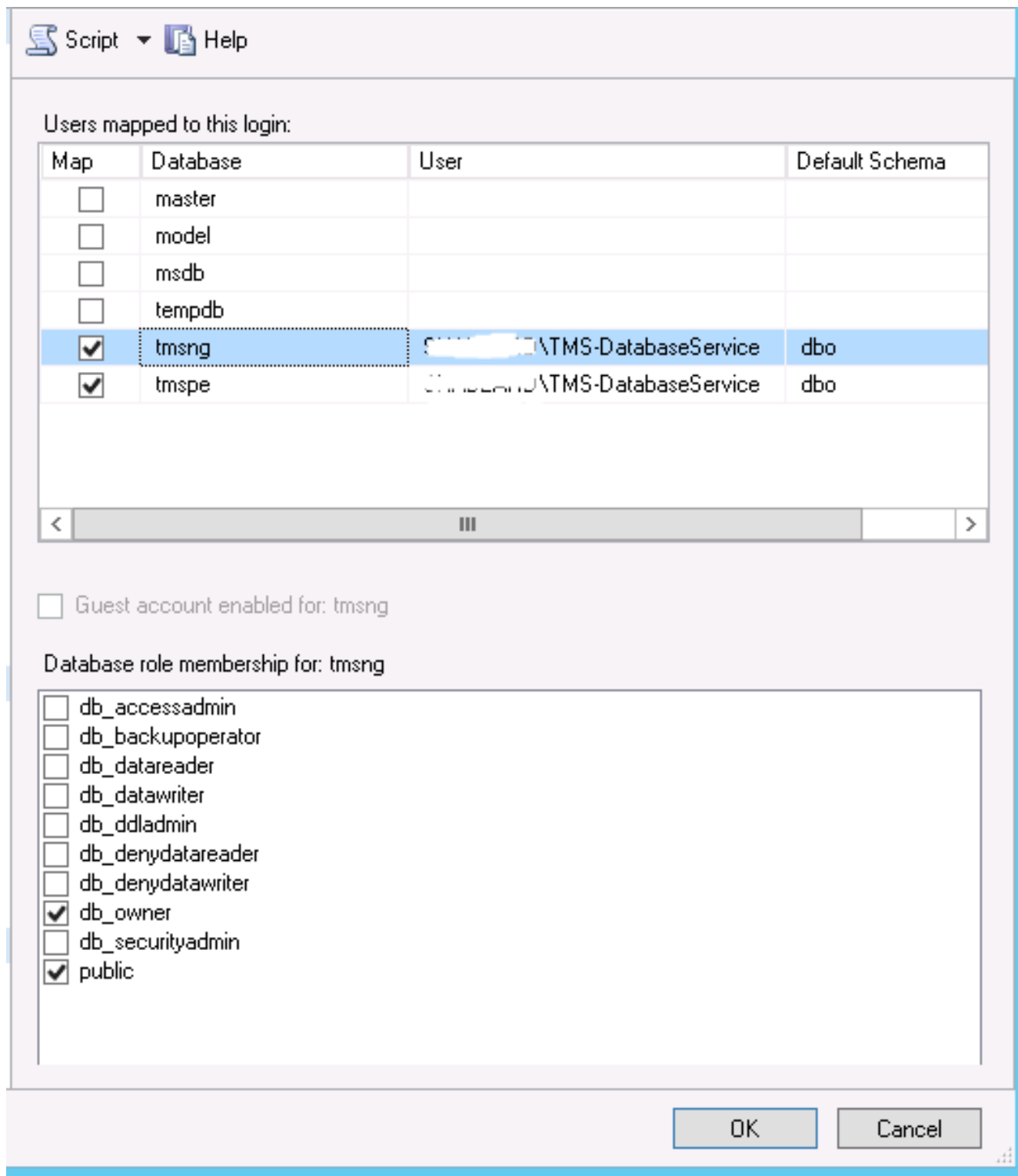


Login] を選択します。

- [General] の下で、サービス ユーザのドメイン アカウント **DOMAIN\USERNAME** を入力します。



- [User Mapping] の下で、[tmsg] と [tmspe] (該当する場合) を選択します。 [Default Schema] で、[dbo] を選択し、ロール メンバーシップとして [db_owner] を選択します。



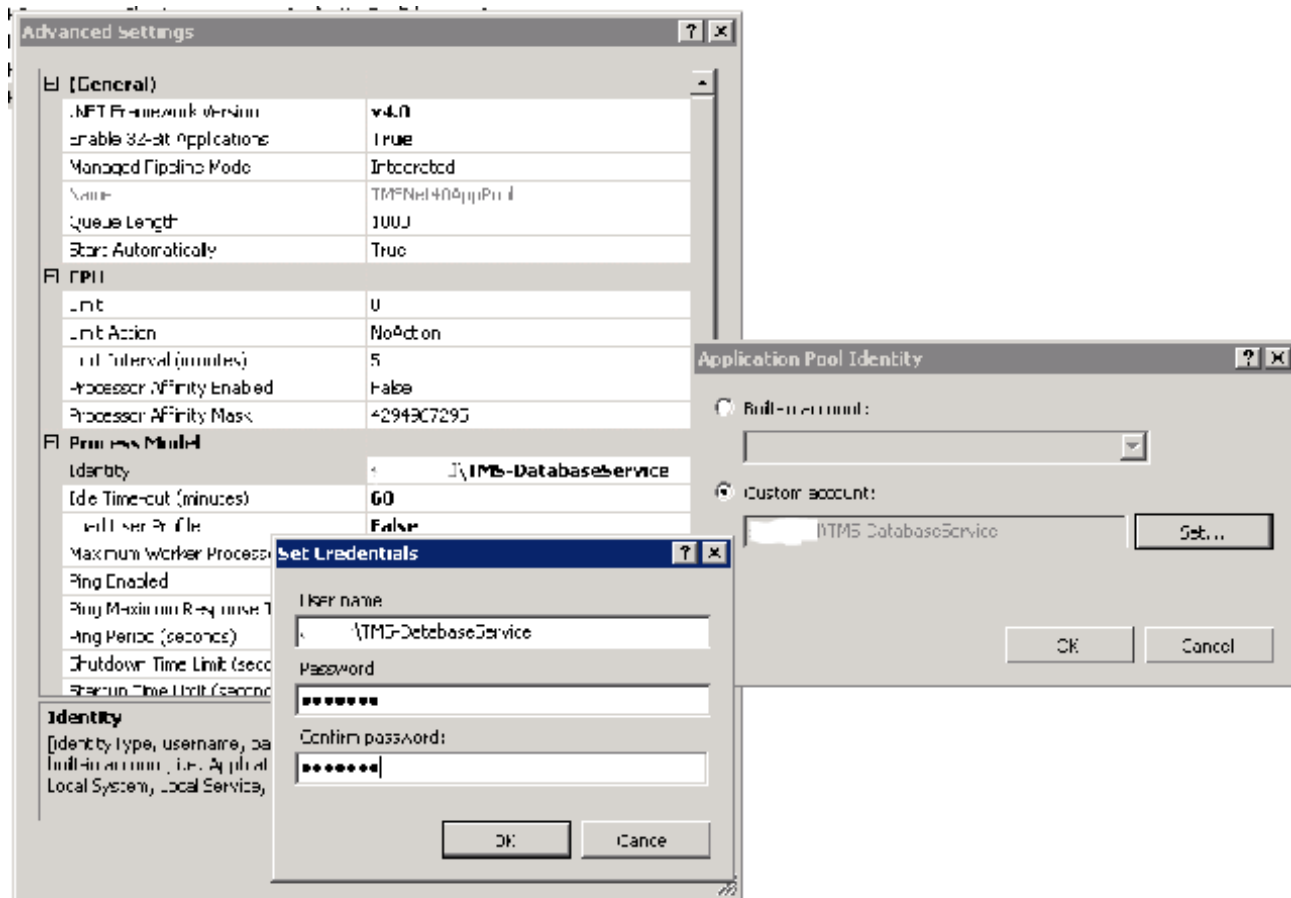
- [OK] をクリックします。

注: ステップ 2 のログインが tmsng データベースにマップされるときに、ユーザが自動的に作成されます。

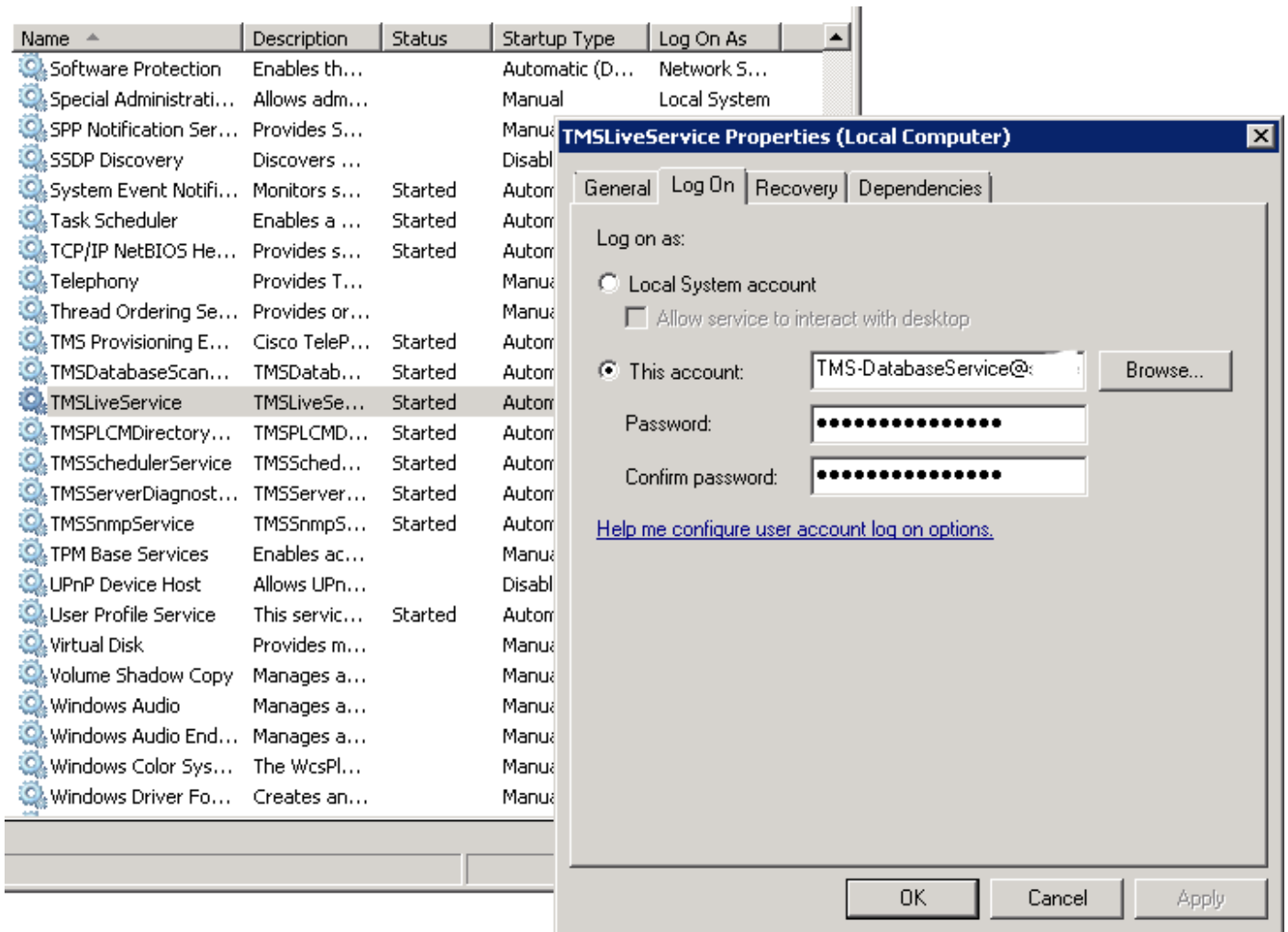
- SQL サーバで、TMS の IIS アプリケーション プールを実行するユーザ アカウント用の新しいログインを作成します。Windows 2003 (IIS 6) のデフォルト アカウントは NT AUTHORITY\NETWORK SERVICE です。Windows 2008 (IIS 7) のデフォルト アカウントは IIS APPPOOL\TMSNet40AppPool です。

注: これはローカル アカウントであるため、外部 SQL サーバを使用している場合、このユーザのログインは作成できません。

外部 SQL サーバを使用する場合は、IIS の IIS APPPOOL\TMSNet40AppPool ユーザ ID をドメイン ユーザ (ステップ 1 で作成したユーザを使用できます。例: tms-databaseservice) に変更する必要があります。このためには、[IIS] > [Application Pools] で [TMSNet40AppPool] を右クリックし、[Advanced Settings] > [Process Model] > [Identity] を選択します。[Custom Account] を選択してサービス アカウント (DOMAINUSERNAME) を入力し、[OK] をクリックします。



[Services] を開き、各 TMS サービスを右クリックし、[Properties] > [Log On] に移動します。[This account] を選択し、サービス アカウント DOMAINUSERNAME とパスワードを入力します。[TMS Tools] を開き、[Database Connection Settings] に移動します。TMSNG と TMSPE の両方のデータベース用に Windows 認証を有効にします。



すべての TMS サービスと World Wide Web Publishing Service を再起動するか、サーバを再起動します。